

2016年2月10日付 中日新聞「日本情報オリンピック出場」

目指すは情報処理の国際大会

水橋さん（松本秀峰校）

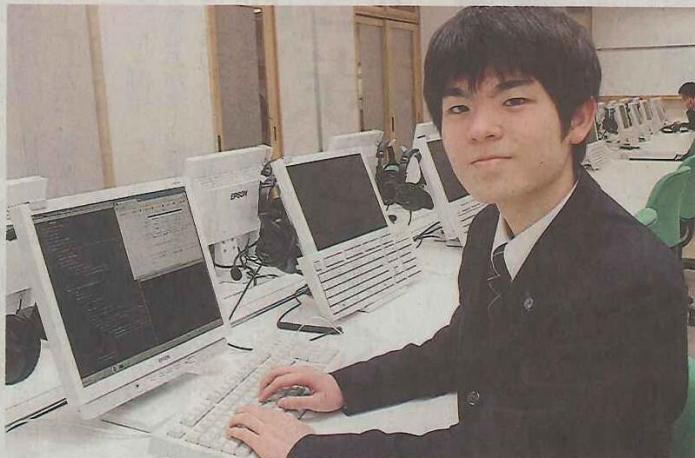
全国大会出場へ

大会は、NPO法人
情報オリンピック日本
委員会が主催し、高校
二年生以下の主に中学
・高校生が対象。コン
ピューターをプログラ
ミングして情報処理の
速さなどを競い、時間
内に与えられた課題を
正確に処理できるかが
審査される。

本選には全国の高校
などから約八十人が参

独学で予選通過 準備着々と

「日本情報オリンピック」の本選に出場する
水橋さん＝松本市の松本秀峰中等教育学校で



（北村希）

松本市埋橋の松本秀峰中等
教育学校四年（高校一年）の
水橋大瑠さん（さが）、茨城県
つくば市で十三、十四日に開
かれる「第十五回日本情報オ
リンピック」の本選に出場す
る。県内からの出場は水橋さ
んだけで、全国の強豪に負け
まいと意気込んでいる。

（北村希）

年のとき、学校の課外授業でコンピューターのプログラミングに初めて触れ、興味を持った。以来、本やインターネットなどで独学で学んできた。「何もない状態から始まり、期待通りにコンピューターが動いてくれるとうれしい」とプログラミングの魅力を語る。

本選に向け、現在は毎日約一時間、さまざまな課題を処理しながら準備をしており、水橋さんは「参加者はできる人ばかりだが、合宿に参加できるように頑張りたい」と話している。

ピックの合宿メンバーし、三回目の予選参加に選ばれる。水橋さんは昨年十二月、自宅のパソコンを使ってオンラインで予選に参加。六百点満点で四百二十点の高得点を獲得して予選を突破。加する予定で、上位十人二十人が来年ロシアで開催される「第十六回日本情報オリンピック」の本選に出場する。水橋さんは、中学一年のときに学校の課外授業でコンピューターのプログラミングに初めて触れ、興味を持った。以来、本やインターネットなどで独学で学んできた。「何もない状態から始まり、期待通りにコンピューターが動いてくれるとうれしい」とプログラミングの魅力を語る。本選に向け、現在は毎日約一時間、さまざまな課題を処理しながら準備をしており、水橋さんは「参加者はできる人ばかりだが、合宿に参加できるように頑張りたい」と話している。